

共通の学生調査を用いた 学修成果の可視化への取組

データに基づくFaculty Developmentの展開

大阪府立大学・長崎大学・玉川大学は「大学IRコンソーシアム」と共催し、文部科学省補助事業「大学教育再生加速プログラム」の一環として、合同フォーラム「共通の学生調査を用いた学修成果の可視化への取組—データに基づくFaculty Developmentの展開—」を開催します。

現在、各大学では学生が大学で学んだ成果を学修成果とし、それを可視化する方法、さらには可視化した成果をFDにつなげていく方策について盛んに議論がなされているかと思えます。本フォーラムではまず可視化するためのツールを提供する「大学IRコンソーシアム」の概要とその意義、次にそれらのデータをFDに活用している大阪府立大学、長崎大学、玉川大学の取組みを報告し、最後に政策的視点も加味した上で、パネルディスカッションで多角的な議論を行います。

日時

2016年 **2月22日** 月
14:00~17:00 (受付 13:00~)

先着限定

300名

入場無料

会場：玉川大学 大学教育棟 2014 521教室

対象：大学・短期大学の教職員およびその関係者

主催：大阪府立大学、長崎大学、玉川大学 共催：IR 大学IRコンソーシアム

お問い合わせ：玉川大学教学部教育学修支援課(担当 山崎・三ヶ田)

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL: 042-739-8866 E-mail: il-supports@tamagawa.ac.jp